

■大内弘世 多々良姓大内氏の第9代当主。大内氏が室町期に最も有力な大名家系となる最初の人物。

おおうちひろよ

・ ・ ・ ・ ・ 1325= 大内弘幸の子に生まれる。幼名は幸松丸、孫太郎。

鎌倉幕府滅亡1333= 8歳：
二条河原落書1334= 9歳：

大内氏は北朝を支持する室町幕府に従うが、

・ ・ ・ ・ ・ 1343=18歳：

観応の擾乱始1350=25歳：幕府内の対立から観応の擾乱と呼ばれる内乱が勃発。足利尊氏が弟の足利直義に対抗するために南朝に降伏して正平一統となる。大内氏は南朝との和睦が取り消されても直義と養子の足利直冬に属し、南朝の武将として満良親王を奉じて勢力を拡大。父弘幸と共に幕府方の周防守護職である鷲頭氏討伐に乗り出し、東大寺領吉敷郡榎野荘に乱入、南朝に帰順の意志を示す。

・ ・ ・ ・ ・ 1351=26歳：_南朝に帰順。父弘幸が南朝から周防守護職に任じられ、宿願を果たす。

観応の擾乱終1352=27歳：父は鷲頭氏討伐を成し得ぬまま死去。大宰府で一色範氏に敗れてた足利直冬が長門国に撤退し、その余波で長門守護の厚東氏が分裂するなど、状況が急変するなか、*家督を継ぐと、周防平定を急ぎ、

・ ・ ・ ・ ・ 1354=29歳：鷲頭一派を傘下に収め、_周防国を支配。

・ ・ ・ ・ ・ 1355=30歳：長門に進出。長門守護であった厚東氏との戦いに突入する。長門国の一宮住吉神社と二宮忌宮神社は厚東氏による庇護が受けられず、両社は大内氏が攻め込むと直ちに内応するなどしたため、

嫡男義弘が誕生。

足利尊氏没・1358=33歳：ついに霜降城は落城、長府を陥落させて長門国を平定した。その後も厚東義武の抵抗が続いたものの、

・ ・ ・ ・ ・ 1359=34歳：厚東氏最後の拠点であった四王寺城が落城して義武は長門を捨て、故地である豊前企救郡に逃亡。_長門も平定して、その守護職に任じられ、防長両国の守護となる。

・ ・ ・ ・ ・ 1360=35歳：*本拠を大内館から山口へ移転。

・ ・ ・ ・ ・ 1361=36歳：余勢をかって九州に渡り、北朝を挟撃するが、盟主と頼んだ足利直冬との関係が希薄になり、斯波高経の献策を受けた2代将軍足利義詮から、防長両国の守護職を認めることを条件に、北朝への復帰を促され、

山名時氏征討1363=38歳：足利直冬と南朝に見切りをつけ、*北朝に帰順。直後に上洛して、莫大な銭貨や新来の唐物を将軍から下賤の者に至るまで贈り、その人気は幕府を圧倒したという。これを機に、山口で京都に倣った都市計画に基づく市街整備を行い、後の大内文化に繋がる基礎を築く。

・ ・ ・ ・ ・ 1365=40歳：これらに対する恩賞か、後光厳天皇により、従五位上に昇進。

・ ・ ・ ・ ・ 1366=41歳：ひき続いて、足利直冬率いる石見の南朝勢力を駆逐した戦功により、_石見守護にも任じられるが、

細川頼之管領1367=42歳：長門の国内安定後には直ちに一宮と二宮の再建に乗り出していたが、この年、二宮の社殿の再建を完了、

足利義満将軍1368=43歳：北朝・室町幕府への帰服を一時的なものとする。嫡男義弘との間で対立が生じるようになり、一宮の社殿の再建を完了させている。

了俊九州探題1370=45歳：九州探題となっていた今川貞世を支援して九州に進出。大宰府攻略や南朝勢力の攻略に戦功を挙げたが、

・ ・ ・ ・ ・ 1371=46歳：九州探題となっていた今川貞世を支援して九州に進出。大宰府攻略や南朝勢力の攻略に戦功を挙げたが、

応安新式・1372=47歳：帰国してしまう。

鎌倉五山制定1373=48歳：京都から帰国する途中の明使を山口に迎え、明使は日本各地から来訪する高僧と交わり、詩も残す。

観世父子登場1374=49歳：安芸国人毛利元春を攻め、

・ ・ ・ ・ ・ 1375=50歳：肥後の水島陣で少式冬資を謀殺して苦境に陥った貞世救援を幕府から依頼されるも拒否、

高麗倭寇激化1376=51歳：元春が今川貞世の命を受けて九州に出陣中に、再度侵攻、これを知った3代将軍足利義満や管領細川頼之から咎められて石見守護職を剥奪されたため、撤兵するも、_長門に荘園があった藤原北家嫡流の転法輪三条家出身の女性を妻に迎え、同家を通じて、摂関家、さらには天皇にも近づく。京から迎えた姫君を慰めようと、一の坂川を京都の鴨川に見立てて、宇治のゲンジボタルを取寄せ、放したと伝えられる。

高麗倭寇続々1377=52歳：その女性の子として、六男盛見が誕生。

義満親政始・1379=54歳：*今川貞世の傘下として各地を転戦していた義弘に石見守護職が与えられ、力関係が逆転するなか、

・ ・ ・ ・ ・ 1380=55歳：嫡男義弘と弟である満弘が家督を巡って内戦(康暦内戦)をしている中、_没した。その死に義弘が関与している可能性があるともいわれる。